

パラオ共和国研修生
学校訪問交流事業
総括報告書

平成30年3月

常陸大宮市

はじめに

本市は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催にあたり、歴史的なつながりをもとに友好関係を築いてきた「パラオ共和国」のホストタウンとして、平成 28 年 6 月に国の登録認定を受けました。また、ホストタウン交流計画に基づき、各種事業を通して、市民等の国際感覚の向上や国際交流の促進、文化・スポーツの推進を図り、地域の活性化を目指しております。

「学校訪問交流事業」は、ホストタウン交流計画に基づき、パラオ共和国から研修生を受け入れ、当該研修生が学校を訪問し、児童生徒等との交流を通して、日本に対する理解の深化を図ることを目的に実施しました。また、当事業を通して、児童生徒等がパラオ共和国への関心を高め、本市のホストタウンとしての取組を理解することにより、国際感覚の向上や国際交流の促進を図りました。

この報告書は、「学校訪問交流事業」において、パラオ共和国研修生と児童生徒等との交流の記録をまとめ、東京 2020 大会におけるパラオ共和国との交流の成果として残すものです。

目次

I. 学校訪問交流事業の概要	1
II. 訪問日程	2
III. 交流活動の記録	4
1. 幼稚園・保育園	4
2. 小学校	7
3. 中学校	18
4. 高等学校	23
IV. 学校給食特別メニュー	25
V. 研修生の感想 ～子供たちとの交流を通して～	27
VI. おわりに	29

参考資料

i. 新聞・テレビ報道記事	31
ii. 学校だより【抜粋】	34

I. 学校訪問交流事業の概要

1. 訪問学校等 全 23 校（園）

- ・市内幼稚園・保育園 【全 5 園】
- ・市立小学校 【全 11 校】
- ・市立中学校 【全 5 校】
- ・市内県立高等学校 【全 2 校】

2. 訪問者

パラオ共和国研修生 3 名



ジェニー・オテイ



アスティン・ニラケド



ケネリー・レケメル

3. 主な交流プログラム

- ・授業体験交流
- ・パラオ共和国に関する歴史、文化等の紹介を通しての交流
- ・部活動体験交流

4. 学校給食特別メニュー

パラオ共和国の郷土料理を基本とした「パラオ学校給食」の提供

- ・第 1 回 平成 29 年 10 月 27 日（金）
- ・第 2 回 平成 29 年 11 月 30 日（木）

5. アンケート調査

この事業の効果検証を行うため、パラオ共和国に関する歴史、文化等の紹介を通しての交流を行った児童・生徒を対象にアンケートを実施し、パラオ共和国に対する理解度調査や感想の聴き取りを実施した。

II. 訪問日程

1. 市内幼稚園・保育園【全 5 校】

No.	訪問日	学校名	交流幼児数
1	10 月 8 日 (水)	おがわ幼稚園	7 名
2	10 月 16 日 (月)	美和幼稚園	8 名
3	10 月 26 日 (木)	大宮幼稚園	33 名
4	12 月 20 日 (水)	若草幼稚園	120 名
5	1 月 25 日 (木)	聖愛保育園	88 名

計 256 名

2. 市立小学校【全 11 校】

No.	訪問日	学校名	交流児童数
1	9 月 27 日 (水)	山方小学校	114 名
2	10 月 5 日 (木)	上野小学校	187 名
3	10 月 12 日 (木)	大宮北小学校	89 名
4	10 月 18 日 (水)	大賀小学校	73 名
5	10 月 19 日 (木)	大宮小学校	52 名
6	11 月 15 日 (水)	山方南小学校	105 名
7	11 月 20 日 (月)	緒川小学校	122 名
8	11 月 21 日 (火)	村田小学校	161 名
9	11 月 27 日 (月)	大宮西小学校	65 名
10	11 月 29 日 (水), 1 月 17 日 (水)	美和小学校	103 名
11	11 月 30 日 (木)	御前山小学校	133 名

計 1,204 名

3. 市立中学校【全 5 校】

No.	訪問日	学校名	交流生徒数
1	10 月 4 日（水）	御前山中学校	64 名
2	10 月 25 日（水）	明峰中学校	137 名
3	10 月 27 日（金）	第二中学校	187 名
4	11 月 8 日（水）	山方中学校	96 名
5	11 月 16 日（木）	大宮中学校	195 名

計 679 名

4. 市内県立高等学校【全 2 校】

No.	訪問日	学校名	交流生徒数
1	10 月 2 日（月）	小瀬高等学校	147 名
2	1 月 18 日（木），24 日（水）， 2 月 20 日（火），3 月 8 日（木）	常陸大宮高等学校	157 名

計 304 名

交流幼児・児童・生徒数 合計 2,443 名

III. 交流活動の記録

1. 幼稚園・保育園

①おがわ幼稚園

訪問日時：平成29年10月8日（水） 午前10時30分から午後1時00分

交流幼児数：7名

交流日程

交流1	交流2
パラオ共和国に関する歴史、文化等の紹介を通しての交流	給食交流

交流内容

「なかよし集会」において、幼児が英語で、研修生が日本語で自己紹介し、一緒にラジオ体操を行った。また、研修生は国旗や写真等を幼児に提示しながら、パラオについて紹介した。その後、屋外でサッカーや日本（幼児）VSパラオ（研修生）のリレーを行うなどして幼児と交流した。



「なかよし集会」にてラジオ体操をする研修生

②美和幼稚園

訪問日時：平成29年10月16日（月） 午前10時40分から午後1時00分

交流幼児数：8名

交流日程

交流1	交流2
パラオ共和国に関する歴史、文化等の紹介を通しての交流	給食交流

交流内容

研修生が紙粘土で作製したパラオの地図、写真や国旗を提示しながらパラオについて紹介をした。幼児と共に「カエルの歌」「げんこつ山のたぬきさん」などの日本の童謡を合唱し、また、ゲーム「あっち向いてホイ」を行うなどして、日本文化を体験した。



「ほら貝」の紹介をするジェニー

③大宮幼稚園

訪問日時：平成29年10月26日（木） 午前9時30分から午後0時30分

交流幼児数：33名

交流日程

交流1	交流2
パラオ共和国に関する歴史、文化等の紹介を通しての交流	給食交流

交流内容

集会で研修生は自己紹介を行った後、全幼児と共にサツマイモ掘りを行い、交流を深めた。その後、研修生は国旗や自作の地図などを用い、パラオの言語や有名な場所の紹介をし、幼児にパラオについて興味をもってもらうきっかけを作った。



研修生による国旗の説明

④学校法人若草学園 若草幼稚園

訪問日時：平成29年12月20日（水） 午前9時40分から午後1時30分

交流幼児数：120名

交流日程

交流1	交流2
パラオ共和国に関する歴史、文化等の紹介を通しての交流	給食交流

交流内容

「年忘れお楽しみ会」で、研修生が幼児にパラオ共和国について紹介をし、幼児の国際感覚の向上を図った。また、各クラス、先生方によって出し物が行われ、研修生は幼児と共に英語や日本語の歌を合唱し、相互の国際理解を図った。その後、12月生まれの幼児の誕生日会が行われ、研修生も一緒にお祝いをした。



幼児にパラオの紹介をする研修生

⑤社会福祉法人 聖泉福祉会 大宮聖愛保育園

訪問日時：平成30年1月25日（木） 午前9時40分から午後2時00分

交流幼児数：88名

交流日程

交流1	交流2
パラオ共和国に関する歴史、文化等の紹介を通しての交流	給食交流

交流内容

“Laboratory Party”で英語講師の指導により、研修生は幼児と歌やダンスをして、交流を深めた。その後、研修生によるパラオの国旗、自然などを紹介するプレゼンテーションを行い、幼児にパラオを知ってもらう機会を設けた。また、幼児による合奏、歌の発表を通して、交流の促進を図った。



幼児とダンスをするケネリー

2. 小学校

①山方小学校

訪問日時：平成29年9月27日（水） 午前11時10分から午後3時00分

交流児童数：114名

交流日程

交流1	交流2	交流3
授業体験交流 ・音楽、国語、算数	給食交流	パラオ共和国に関する歴史、文化等の紹介を通しての交流

交流内容

ジェニーは1学年の音楽の授業に参加した。児童が「日の丸の旗」の合唱や、鍵盤ハーモニカで「カエルの歌」の演奏を行い、日本の童謡等を通して日本文化に触れた。また、カウントに合わせた指遊びを行った。アスティンは2学年の国語の授業で児童と群読を行った。2つのグループに分かれ、大きな声で掛け合いをする児童の群読にアスティンは驚いていたが、日本の学習方法の1つであることを学んでいた。ケネリーは3学年の算数の授業に参加した。コンパスを使用した学習を同じグループの児童と協力して行った。声を掛け合いながら作業をすることで児童との距離が縮まり、その後の給食交流では互いに質問をし合うなど、終始楽しげであった。

4～6学年の児童59名を対象に、研修生がパラオの紹介を行い、パラオの歴史や伝統文化等について児童に伝えた。児童はパラオの食べ物について特に関心を持ったようで、プレゼンテーションの後にはパラオの主食や海産物に関する質問が多くあがった。



音楽の授業に参加するジェニー

児童の感想（4～6学年）

- ・日本とパラオは昔から仲が良かったと聞いて嬉しく感じた。（4学年）
- ・パラオのことはあまり知らなかったけど、パラオのことを聞いたら、もっとパラオを知りたいと思いました。（4学年）
- ・2020年の東京オリパラに向けて、研修生たちがパラオの人のために頑張っているのがすごいと思った。（5学年）
- ・パラオ語になった日本語の話が印象に残りました。それは、パラオでも使われていると知り、嬉しくなったからです。（6学年）

②上野小学校

訪問日時：平成29年10月5日（木） 午前11時05分から午後3時00分

交流児童数：187名

交流日程

交流1	交流2	交流3
授業体験交流 ・音楽、体育、社会	給食交流	パラオ共和国に関する歴史、文化等の紹介を通しての交流

交流内容

ケネリーは1学年の音楽の授業に参加し、児童による合唱や楽器演奏を聴いた。また、音楽に合わせて体を動かすなどして子供たちと交流を図った。アスティンは2学年の児童とドッジボールを行い、声を掛け合いながら交流した。ジェニーは3学年の社会の授業において、児童にパラオの歴史、パラオと常陸大宮市の関係等を紹介した。その後、先生からパラオに関するクイズが出題されるなど、児童にとってパラオを深く知る機会となった。

4～6学年の児童100名を対象とした研修生によるパラオの紹介では、研修生がクイズを交えながら説明し、児童は興味を持って聴いている様子であった。また、児童からは「パラオに行きたい。」「パラオのきれいな海を見たい。」などと声があがり、パラオに対する意識の向上が見られた。



クイズの最後に児童とあっち向いてホイをするジェニー

児童の感想（4～6学年）

- ・プレゼンテーションを聞いて、パラオ共和国に興味を持ちました。（4学年）
- ・パラオ共和国は日本人にそんなに助けられているのかと思った。パラオ共和国は日本にすごく近い国だと思った。（4学年）
- ・パラオが好きになった。（5学年）
- ・パラオ共和国はどういう国が知らなかったけど、話を聞いて、イルカと一緒に泳げる湖などとてもおもしろそうだった。（5学年）
- ・パラオ共和国もっと仲良くなりたいと思った。（6学年）
- ・パラオ共和国のことをもっと知りたいと思った。（6学年）

③大宮北小学校

訪問日時：平成29年10月12日（木） 午前11時05分から午後3時00分

交流児童数：89名

交流日程

交流1	交流2	交流3
授業体験交流 ・書写，体育，英語	給食交流	パラオ共和国に関する歴史， 文化等の紹介を通しての交流

交流内容

ジェニーは4学年の書写の授業に参加し、「出発」の文字を書いた。ジェニーにとっては新しく漢字を覚える機会となり，児童や先生に教えてもらいながら行うことで交流も図られた。アスティンは5学年の体育の授業で「ダッシュ」や「エンドレス鬼ごっこ」等を行った。様々な種類の「ダッシュ」では児童の真似をしながら汗を流し，2人1組やグループで行う活動では，児童が積極的にアスティンに話しかける様子などが見られた。ケネリーは6学年の英語の授業で児童と発音の練習やペアワークを行った。ペアワークでは十分な時間が設けられたため，多くの児童と話すことができた。

全学年を対象に研修生がパラオの紹介を行った。研修生が魚や観光地の写真を提示すると，児童からは「魚がカラフルだ！」「行ってみたい！」などと声があがり，また，低学年の児童を中心に研修生に関する質問が多くあり，児童と研修生の会話形式の質疑応答となった。



書写の授業に参加するジェニー

児童の感想（4～6学年）

- ・パラオ共和国の人が来てくれて初めて，パラオの人たちが何を食べているかを知りました。（4学年）
- ・パラオと日本は友達なんだなと思った。（5学年）
- ・いろいろな魚を見ながら，きれいな海を泳ぎたいと思った。その魚をとって飼いたい！（5学年）
- ・パラオの学校のことが知れたり，文化のことがわかったり，いろいろ知れて嬉しかったです。オリンピックでパラオを応援したいと思います。（6学年）

④大賀小学校

訪問日時：平成29年10月18日（水） 午前11時00分から午後2時40分

交流児童数：73名

交流日程

交流1	交流2	交流3
パラオ共和国に関する歴史、文化等の紹介を通しての交流	給食交流	授業体験交流 ・生活科、学活 (サツマイモ掘り)

交流内容

児童が事前に作製した名札を研修生に贈呈し、研修生はその名札を掲げ、児童集会に出席した。児童集会では児童が、月の歌である「もみじ」を合唱した後、研修生によるパラオの紹介が全校児童を対象に行われた。研修生はパラオの国旗、食べ物、観光地等の紹介をし、児童がパラオについて興味を持つきっかけづくりに努めた。その後、4・5学年によるリコーダーの演奏が行われ、全学年でのジャンケン列車には研修生も参加した。研修生は初めての経験に戸惑いながらも、日本の遊びを体験した。

研修生は1～3学年の生活、学活の授業時に児童とサツマイモの収穫を行った。研修生にとって初めてのサツマイモの収穫であったが、児童と協力して作業を行い、畑のサツマイモをすべて掘り起こした。双方が積極的に話しかけるなどして終始和やかな交流となった。



児童手作りの名札を掲げてパラオの紹介をする研修生

児童の感想（4～6学年）

- ・日本は暑い時と寒い時があるから、パラオは一年中暑いと聞いて驚きました。（4学年）
- ・パラオで日本の言葉が使われているということが印象に残りました。（4学年）
- ・パラオの海を見たことがないし、パラオの海に行ってみたいと思った。（5学年）
- ・常陸大宮市からパラオに救急車や消防車を送っていることがわかった。（6学年）
- ・いろいろなパラオの食べ物を食べてみたいと思った。（6学年）

⑤大宮小学校

訪問日時：平成29年10月19日（木） 午前11時25分から午後2時40分

交流児童数：52名

交流日程

交流1	交流2	交流3
授業体験交流 ・書写，体育	給食交流	パラオ共和国に関する歴史， 文化等の紹介を通しての交流

交流内容

多くの児童が在籍する大宮小学校では、主に5学年の児童と交流をした。アスティンは5学年1組の児童と書写の授業に参加し、「希望」の文字を書いた。アスティンは書写の授業を通して、漢字を学ぶとともに、日本の文化を体験した。また、児童は積極的にアスティンに話しかけるなどして、交流を図った。ジェニーとケネリーは5学年2組の体育の授業で児童とバレーボールを行った。研修生は児童の名前を呼んで、児童との距離を縮め、また、励ましの声を掛け合いながら積極的に取り組んだ。

研修生は5学年の児童にパラオの食べ物やスポーツを紹介し、児童はパラオに対する理解を深めた。児童はパラオで起こった戦争の話等を真剣に聞いており、パラオと日本の関係を詳しく知る機会となった。また、研修生が食べ物や観光地の紹介をすると、日本との違いに驚いた様子であった。



書写の授業を受けるアスティン

児童の感想（5学年）

- ・日本とパラオは離れていて、時差があると思っていたけど、実際には時差がなくて驚きました。
- ・パラオと常陸大宮市は深くかかわっていることがわかりました。
- ・パラオ共和国は平和な国だと思っていたけれど、本当は悲しいことが起きていたことを、プレゼンテーションを聞いて初めてわかりました。
- ・日本の主食は米なのに、パラオの主食はタロイモだという話が印象に残りました。
- ・私はパラオに行って日本と同じところや違うところを見つけたいなと思いました。
- ・日本とパラオはこれからも仲良くしてほしいと思った。
- ・パラオと日本は昔からかわりがあり、仲が良かったことを初めて知りました。

⑥山方南小学校

訪問日時：平成29年11月15日（水） 午前11時35分から午後2時35分

交流児童数：105名

交流日程

交流1	交流2	交流3
授業体験交流 ・体育，図工，書写	給食交流	パラオ共和国に関する歴史， 文化等の紹介を通しての交流

交流内容

アスティンは1学年の体育の授業に参加し，縄跳びを行った。パラオでは大縄跳びしか経験したことがなかったアスティンは初めて短縄跳びに挑戦した。児童と声を掛け合いながら，終始楽しそうな様子が見られた。ジェニーは2学年の図工の授業に参加し，画用紙や折り紙を用いた工作を行った。ジェニーや児童は相互の作品を見て，感想を述べ合うなどして交流した。ケネリーは3学年の書写の授業に参加し，「つり」の文字を書いた。児童と一緒に道具を準備し，使い方などを教えてもらいながら取り組んだ。

また，給食や清掃の時間に児童が積極的に活動する姿を見た研修生は，パラオの学校生活との違いに驚いており，児童に感心していた。アスティンは児童と雑巾がけを行った。

研修生は全校児童にパラオについて紹介し，その後，児童からの質問に答えた。研修生は児童からの質問に積極的に答え，和やかな交流となった。



雑巾がけをするアスティン

児童の感想（4～6学年）

- ・研修生ともっと交流したかったです。（4学年）
- ・パラオの国旗が日本の国旗と似ていて，本当にパラオの人は日本のことを大切にしているんだなと思いました。（4学年）
- ・パラオ共和国ともっと仲良くしたい。（5学年）
- ・パラオの歴史が一番印象に残った。理由は日本とパラオが昔から仲良くしているのが嬉しかったから。（6学年）
- ・研修生の皆さんが，日本がとても上手く，勉強をたくさんしたのが伝わった。日本を良いところだと言ってくれてよかった。（6学年）

⑦緒川小学校

訪問日時：平成29年11月20日（月） 午前11時30分から午後2時30分

交流児童数：122名

交流日程

交流1	交流2	交流3
授業体験交流 ・音楽、体育	給食交流	パラオ共和国に関する歴史、 文化等の紹介を通しての交流

交流内容

ジェニーは1学年の音楽の授業に参加し、児童による鍵盤ハーモニカの演奏を聴き、また、ジャンケンゲームを行うなどして児童と交流を図った。アスティンは4学年の体育の授業に参加し、ティーボールを行い、同じチームの児童と声を掛け合いながら交流した。ケネリーは6学年の体育の授業に参加し、バスケットボールを行い、積極的に会話をするなどして交流を深めた。

4～6学年の児童63名を対象に研修生はパラオの紹介を行い、パラオと日本の国旗を提示するなどして児童の理解を図った。パラオの紹介後には、児童から国旗や食べ物についての質問があり、パラオの有名な料理「コウモリスープ」の話では、児童から驚きの声があがった。



グループに入りゲームを楽しむジェニー

児童の感想（4～6学年）

- ・パラオの国旗の意味が分かった。（4学年）
- ・コウモリを食べるという話にびっくりしました。（4学年）
- ・パラオ共和国のことをもっと知りたいと思った。（5学年）
- ・パラオと常陸大宮についての話が印象に残りました。友達だということを初めて知りました。（5学年）
- ・パラオの言葉は日本語を少し使ったり、英語を使ったりするけど、他の国とは違うなあと思いました。（6学年）
- ・パラオ共和国のことはあまり知らなかったけど、プレゼンテーションでよく知ることができました。（6学年）

⑧村田小学校

訪 問 日 時：平成 29 年 11 月 21 日（火） 午前 11 時 00 分から午後 2 時 50 分

交流児童数：161 名

交 流 日 程

交流 1	交流 2	交流 3
授業体験交流 ・生活科、書写	給食交流	パラオ共和国に関する歴史、 文化等の紹介を通しての交流

交 流 内 容

ジェニーは 1 学年の児童と折り紙で鶴を折るなどして日本の文化を体験し、相互に教え合うことで交流を図った。また、アスティンは「いばらきっ子かるた」で 2 学年の児童とかるた取りを行った。アスティンにとって初めての「かるた」で、日本の文化を体験するとともに、日本語の学習となった。3 学年の書写の授業に参加したケネリーは好物の「なっとう」の文字を書くなどして、和やかな雰囲気の中で児童との交流を深めた。

4～6 学年の児童（80 名）を対象に研修生はパラオの紹介を行った。観光地の説明では、ドルフィンパシフィックやジェリーフィッシュレイクの話をし、環境問題等を含めた現在の状況を伝えるなどして、子供たちに、パラオをより身近に考えてもらおうとした。また、パラオの歴史の紹介では、研修生は児童たちに「常陸大宮市とパラオの絆を深めたい」と伝えた。



「かるた取り」をするアスティン

児童の感想（4～6 学年）

- ・常陸大宮市の人のやさしさとパラオ共和国の人の温かさを感じた。（4 学年）
- ・パラオ共和国をととても身近に感じました。日本人と一緒に戦いたいというパラオ共和国の人たちは優しいなと思いました。（4 学年）
- ・パラオ共和国は日本の宝物だと思った。（5 学年）
- ・東京オリパラで応援しようと思った。（5 学年）
- ・パラオ共和国について楽しく学べてとても良かったです！（6 学年）
- ・前はパラオとあまり関係がないと思っていたけど、昔からすごく仲が良いことが分かって、身近に感じました。（6 学年）

⑨大宮西小学校

訪 問 日 時：平成 29 年 11 月 27 日（月） 午前 11 時 00 分から午後 4 時 00 分

交流児童数：65 名

交 流 日 程

交流 1	交流 2	交流 3
授業体験交流 ・体育	給食交流	パラオ共和国に関する歴史、 文化等の紹介を通しての交流

交 流 内 容

研修生 3 名は 6 学年の体育の授業に参加し、児童と「よさこいソーラン」を踊った。長倉の七夕祭りで一度よさこいを踊ったことがあった研修生は、動作を児童に確認するなどして、積極的に取り組んだ。終了後には踊ったよさこいのビデオを全員で鑑賞した。研修生は「久しぶりに踊ったので足が痛かった。でも子供たちと一緒によさこいを踊れてとても嬉しかった。」と話した。

研修生は、授業体験交流を行った 6 学年の児童に向けて、研修生はパラオの歴史や文化、観光地などの紹介をした。研修生がパラオの海の写真等を提示すると、児童からは「行ってみたい！」との声があがった。また、研修生は「東京オリンピックでパラオの応援をよろしくお願いします。」と児童に呼びかけた。



6 学年全員と一緒によさこいを踊る研修生

児童の感想（6 学年）

- ・ 2020 年のオリンピックとパラリンピックで応援したいと思った。（1 組）
- ・ パラオ共和国は友達のような国でなんだか嬉しかった。（1 組）
- ・ 前まではパラオってどこの国、どういうところしか興味なかったけど、日本とパラオの関係など知りたいことが増えた。（1 組）
- ・ 第二次世界大戦の後、関係が離れてしまったのににもかかわらず、その後もまた仲良くしていることが印象に残りました。（1 組）
- ・ 東京 2020 オリンピック・パラリンピックの時にパラオのことを応援したい。（2 組）
- ・ きれいな海やたくさんの生き物がいると聞いて、人生で一度は見てみたい。（2 組）
- ・ パラオは小さい国だけど、自然がすごく大切にされていると思った。（2 組）

⑩美和小学校

訪問日時：平成29年11月29日（水） 午前11時20分から午後3時30分（交流1～3）

平成30年1月17日（水） 午後2時00分から午後4時00分（交流4）

交流児童数：103名

交流日程

交流1	交流2	交流3	交流4
授業体験交流 ・図工	給食交流	パラオ共和国に関する 歴史、文化等の紹介を 通しての交流	クラブ活動を通して の交流

交流内容

研修生3名は、美和地域の特色ある授業、5学年の「木工教室」に参加し、児童と「ペン立て」を制作した。講師の野崎重仁先生から、常陸大宮市の産業や木材について学びながら、研修生は子供たちと協力し作業を行った。研修生にとっては、物を作る楽しさを児童と共有し、地域資源を有効活用する仕方を学ぶ機会となった。

研修生は、4～6学年の児童（57名）にパラオの歴史や常陸大宮市との関係等を紹介した。質疑応答の時間には、「パラオで有名な歌は何ですか？」との質問があり、ジェニーはパラオ国歌を1フレーズ歌い、児童からは歓声があがった。

ジェニーは裁縫・手芸クラブ、アスティンは科学・工作クラブ、ケネリーは球技クラブに参加した。ジェニーは布を使い、入れ物を制作した。初めての経験だったため、児童に教えてもらいながら慎重に作業を行った。アスティンは「福笑い」や「めんこ」を行い、日本の正月に行う伝統の遊びを体験した。ケネリーは「陣取りゲーム」で児童と交流し、終始子供たちとケネリーの楽しそうな笑い声が体育館に響いていた。



児童と協力して「ペン立て」を作るアスティン

児童の感想（4～6学年）

- ・パラオと常陸大宮市の関係やパラオの名物などがよくわかりました。（4学年）
- ・パラオ共和国の食べ物が日本と全然違うことにとてもびっくりしました。（4学年）
- ・海の生き物が泳いでいる写真がとてもきれいでした。（5学年）
- ・パラオの人と仲良くしようと思いました。（5学年）
- ・お好み焼きのことをコロッケということが印象に残りました。（6学年）

⑪御前山小学校

訪問日時：平成29年11月30日（木） 午前11時00分から午後3時40分

交流児童数：133名

交流日程

交流1	交流2	交流3	交流4
授業体験交流 ・算数、理科	給食交流	パラオ共和国に関する 歴史、文化等の紹介を 通しての交流	クラブ活動を通して の交流

交流内容

ジェニーは3学年の算数の授業に参加して、児童と少数の学習をした。グループでの「教え合い・学び合い」の活動に児童と共に取り組んだ。アスティンは4学年の算数の授業には参加し、面積を学習した。児童と同じように板書を写し、問題を解くなどして日本の学校の授業を体験した。ケネリーは6学年の理科の授業に参加した。「てこのはたらき」を学び、児童と積極的に相談をしながら実験を行った。

研修生にとって小学生の前で行うプレゼンテーションは今回が最後であった。研修生は全校児童に日本とパラオの関係等を話し、理解を図った。

研修生3名はクラブ活動でバスケットボールを行い、児童と交流を図った。笑い声が飛び交うなど、終始和やかな雰囲気であった。バスケットボールが得意なアスティンとケネリーがシュートを決めると、児童たちからは歓声が上がった。



「てこのはたらき」について児童と実験するケネリー

児童の感想（4～6学年）

- ・ダイビングをしてみたくなりました。（4学年）
- ・パラオ共和国の国歌が印象に残りました。（4学年）
- ・多くの日本人がパラオ共和国に住んでいたことに驚きました。（5学年）
- ・パラオでも日本語が使われていて、パラオと日本のつながりは深いなと思った。（5学年）
- ・国旗が似ていることの意味が素敵だと思った。（6学年）
- ・物語を木に掘っていたことが印象に残りました。後世に伝えられることはたくさんあるんだなあと思いました。（6学年）

3. 中学校

①御前山中学校

訪問日時：平成29年10月4日（水） 午前11時00分から午後4時30分

交流生徒数：64名

交流日程

交流1	交流2	交流3	交流4
授業体験交流 ・美術	給食交流	パラオ共和国に関する 歴史、文化等の紹介を 通しての交流	部活動交流 ・バレーボール部、 野球部

交流内容

研修生3名は2学年の美術の授業に参加し、和紙を使用して「ちぎり絵ミニうちわ」を制作した。研修生はうちわに常陸大宮市の風景を表現した。制作後は、全員で作品を鑑賞し、互いの作品について質問をし、感想を伝え合う様子も見受けられ、積極的な交流が図られた。

全校生徒を対象に、研修生はパラオの人口、歴史、政治等について紹介を行った。その後、生徒から「研修生が日本に来て一番印象に残っていることは何ですか？」との質問があり、ジェニーは「日本には自動販売機がたくさんあることに最初はとても驚きました。」と話し、日本とパラオの違いを生徒に伝えた。

ジェニーはバレーボール部、アスティンとケネリーは野球部の練習に参加した。部活動の前には御前山中学校伝統の「12分間走」があり、全員で敷地内を走った。生徒と声を掛け合い、励まし合いながら行う姿が見られた。



美術の授業で「ちぎり絵ミニうちわ」を制作するアスティン

生徒の感想（全学年）

- ・パラオと日本がなぜ今も交流を深めているのかを知ることができたので、パラオの歴史や日本とのつながりが一番印象に残りました。（1学年）
- ・私たちのために全部日本語で話してくれて心が温かくなった。日本との共通点も多くて驚いた。（2学年）
- ・離れた国でも、似ている文化があり驚いた。その土地に合った暮らしの工夫を聞いて、パラオに行ってみたいと思った。（3学年）
- ・パラオの歴史が印象に残りました。日本とのかかわりや、日本に対する思いを知ることができ、とても驚いたし、感動したからです。（3学年）

②明峰中学校

訪問日時：平成29年10月25日（水） 午後0時15分から午後4時30分

交流生徒数：137名

交流日程

交流1	交流2	交流3	交流4
パラオ共和国に関する歴史、文化等の紹介を通しての交流	給食交流	授業体験交流 ・音楽	部活動交流 ・バレーボール部、 剣道部

交流内容

全校生徒を前にパラオ共和国に関する歴史、文化等の紹介を行い、パラオに対する理解を得た。パラオの政治等を紹介し、日本との相違点を学習する場ともなった。

3学年2組の音楽の授業に参加し、生徒と箏の演奏に取り組んだ。初めて見る箏の大きさと音色に感動しながらも、研修生は先生や生徒に指導を受け、箏の演奏の楽しさを味わった。アスティンは「もっと練習をして、上手に弾けるようになりたい。」と話し、生徒に積極的に質問をした。その後は生徒の合唱発表があり、研修生は生徒の歌声に聴き入っていた。

ジェニーとケネリーはバレーボール部、アスティンは剣道部の練習で生徒と交流した。バレーボール部の練習では生徒と二人一組で準備運動を行い、声を掛け合いながら活動した。剣道部の練習においては、正座・礼などの武道の基本を学ぶなど、日本文化を通じた生徒との交流となった。



箏の演奏に挑戦するアスティン

生徒の感想（全学年）

- ・パラオについて何も知らなかったけど、パラオと日本は仲が良いことや、他にもたくさんパラオについて知ることができた。（1学年）
- ・東京オリパラでぜひメダルを取ってほしいです。（1学年）
- ・パラオ共和国と常陸大宮市がもっと交流をして仲良くなればいいと思った。（2学年）
- ・パラオとの関わりを大切にしていきたい。（2学年）
- ・パラオは野球が盛んであるということが一番印象に残った。（3学年）

③第二中学校

訪問日時：平成29年10月27日（金） 午前11時20分から午後5時00分

交流生徒数：187名

交流日程

交流1	交流2	交流3	交流4
授業体験交流 ・体育	給食交流	パラオ共和国に関する 歴史、文化等の紹介を 通しての交流	部活動交流 ・バレーボール部、 野球部

交流内容

研修生3名は2学年3組の体育で柔道を行い、生徒と武道の伝統的な動作を学んだ。受け身や組み方を教わり、生徒と柔道の楽しさを共有しながら体験することができた。特に、二人一組で行う組手の練習では、生徒は研修生に積極的に声をかけ、研修生は多くの生徒と柔道を通して交流する機会を得ることができた。

1学年の生徒58名を対象としたプレゼンテーションでは、研修生はパラオのほら貝などを示しながら紹介をし、その後の質疑応答では、生徒が英語で質問をした。研修生も英語で答え、後に日本語で説明するなど、双方の語学学習の場ともなった。

ジェニーはバレーボール部、アスティンはバスケットボール部、ケネリーは野球部の練習に参加した。それぞれの部活動で生徒と名前を呼び合うなどして、スポーツを通して交流を図った。



柔道の受け身を練習するケネリー

生徒の感想（1学年）

- ・昔の日本人とのエピソードがとても感動しました。
- ・食べ物の違いが印象に残りました。原料が何かなどを知れたからです。
- ・パラオが日本を尊敬している理由が分かった。
- ・パラオ共和国が独立したのが、最近のことで驚いた。
- ・プレゼンテーションを聞くまで全く知らなかったけど、とても身近な存在だということが分かりました。

④山方中学校

訪問日時：平成29年11月8日（水） 午前11時20分から午後4時30分

交流生徒数：96名

交流日程

交流1	交流2	交流3	交流4	交流5
授業体験交流 ・体育	授業体験交流 ・技術	給食交流	パラオ共和国に関する歴史、文化等の紹介を通しての交流	部活動交流 ・バレーボール部、 野球部

交流内容

4校時に1学年の体育、6校時に1学年2組の技術の授業に参加した。体育の授業ではマラソン大会の練習として、グループに分かれ、生徒とグラウンドを走った。生徒と研修生は互いに応援しながら練習を行った。技術の授業では、「両刃のこぎりを使用した切断の仕方」を生徒と共に学んだ。生徒は、研修生に先生からの指示事項を実演や絵を描くなどして再度伝え、3人1組になって作業を行った。

1学年生徒46名を対象に研修生がプレゼンテーションを行った。質疑応答の際には、生徒が積極的に質問を行い、英語で会話をする場面も見受けられた。

ジェニーはバレーボール部、アスティン、ケネリーは野球部の生徒と共に練習を行った。バレーボール部・野球部のどちらの部活動においても、生徒と研修生が互いに名前を呼び合いながらパス回し等を行い、スポーツを楽しみつつも、真剣に取り組む姿が見られた。



「のこぎり引き」をするケネリー

生徒の感想（1学年）

- ・世界遺産の話が印象に残りました。海がすごくきれいで、岩などもトンネルみたいになっていてすごいと思いました。
- ・最初はパラオのことが分からなくて興味はなかったけど、研修生と触れ合ったり、話を聞いたりして仲良くなれた気がした。
- ・「アジダイジョーブ」が「おいしい」という意味で使われているのが面白かった。
- ・パラオと日本の関係を知り、もっとわかり合いたいと思った。

⑤大宮中学校

訪問日時：平成29年11月16日（木） 午前11時00分から午後4時00分

交流生徒数：195名

交流日程

交流1	交流2	交流3	交流4
授業体験交流 ・書道	給食交流	パラオ共和国に関する 歴史、文化等の紹介を 通しての交流	部活動交流 ・剣道部

交流内容

研修生は1学年2組の書道の授業に参加した。研修生3名それぞれが生徒に囲まれ、漢字の書き方や読み方等を教えてもらいながら、書道を行った。終始和やかな雰囲気での授業体験となり、積極的な交流が図られた。

学年集会において、歓迎を受けた研修生は1学年生徒に向けてパラオの紹介を行った。パラオの概要、国旗や常陸大宮市との関係性などを伝え、生徒からの質問に答えた。生徒は「ようこそ日本・大宮中へ」と書かれたパネルを用意しており、集会後には全体で記念撮影をした。

研修生3名は1学年の剣道部の練習に参加した。胴着を着用し、実際に生徒と剣道の試合を行うなどして交流を図るとともに、日本文化を体験した。



生徒と剣道の試合をするケネリー（右）

生徒の感想（1学年）

- ・パラオでも野球などの日本語が使われていることが印象に残りました。パラオと日本では文化や言葉が全然違うと思っていたので意外でした。
- ・出会ってから最後は命をかけて戦いたいとまで思ってくれてすごいと思った。私も人と人とのつながりを大切にしたい。
- ・第二次世界大戦後再び友好関係を築き、日本人とパラオ人の美しい心に感動しました。
- ・パラオなどの外国は私たちには関係ないと思っていたけれど、とても身近に感じることができ、何より他の国ともよい関係を持つことの大切さを感じた。

4. 高等学校

①茨城県立小瀬高等学校

訪問日時：平成29年10月2日（月） 午前11時00分から午後4時30分

交流生徒数：147名

交流日程

交流1	交流2	交流3	交流4	交流5
パラオ共和国に関する歴史、文化等の紹介を通しての交流	授業体験交流 ・英語 (特別進学クラス)	授業体験交流 ・茶道教室	授業体験交流 ・体育	部活動交流 ・バレーボール部、 野球部

交流内容

研修生は全校生徒を対象に、クイズを交えながらパラオの人口や歴史、政治等について紹介をし、生徒はパラオへの理解を深めた。

4校時に特別進学クラスの英語の授業、5校時に英語による茶道教室、6校時に1学年の体育の授業で、生徒と交流をした。特別進学クラスにおいては、ゲーム形式で英語による自己紹介をした後、生徒によって常陸大宮市のおすすめの場所についてのプレゼンテーションが行われた。研修生は積極的に生徒に質問をするなどして交流を深めた。5校時の茶道教室においては、実際にお茶をたて、味わうことで日本の伝統文化を体験した。6校時の体育の授業では、ジェニーがソフトボール、アスティンとケネリーが柔道を行い、生徒と交流した。また、アスティンとケネリーにとって柔道は初めての体験だったため、生徒に教えてもらいながら乱取りなどの練習を行った。

ジェニーはバレーボール部、アスティンとケネリーは野球部の練習に参加し、交流をした。野球部の練習の最後には、生徒がアスティンとケネリーを胴上げする光景も見られた。



生徒と茶道を体験する研修生

生徒の感想（全学年）

- ・第二次世界大戦の話の中で、パラオ人を巻き込むまいと日本人がとった行動に対し、研修生が優しいと言ってくれたことが印象に残った。（1学年）
- ・いつかパラオ共和国に行きたいと思った。あのきれいな海を自分の目で見たいと思った。（2学年）
- ・ホストタウンとして、もっとパラオ共和国を知ろうという気持ちになった。（3学年）

②茨城県立常陸大宮高等学校

訪問日時：平成30年1月18日（木） 午前9時50分から午前11時50分（交流1）
 平成30年1月24日（水） 午前8時55分から午後1時30分（交流2）
 平成30年2月20日（火） 午前9時55分から午後0時45分（交流2）
 平成30年3月8日（木） 午後4時45分から午後5時45分（交流3）

交流生徒数：157名

交流日程

交流1	交流2	交流3
課題研究発表会	パラオ共和国に関する歴史、文化等の紹介を通しての交流	部活動交流 ・弓道部

交流内容

1月18日（木）に研修生3名は機械科3学年生徒による「課題研究発表会」を見学した。全8グループによる、ものづくりに関する研究発表で、生徒は作品を提示しプレゼンテーションを行った。研修生は発表を聴き、生徒の研究について学んだ。

1月24日（水）と2月20日（火）は、研修生がパラオについての紹介を行い、生徒はパラオに対する理解を深めた。また、質疑応答の時間を十分にとっていたため、生徒は研修生やパラオのことについて、研修生は生徒や日本のことについて相互に質問をし合い、興味や関心を高めた。

3月8日（木）には、研修生は弓道部の練習に参加した。弓道初心者の3名は先生や生徒に指導を受けながら、日本のスポーツを体験した。



「2020 大会ではパラオの選手を応援してください。」と呼びかけるアスティン

生徒の感想（1，2学年）

- ・パラオはとても小さい国ですが、こういった関係を築いていくことはとても大事だと思いました。（1学年）
- ・1年中夏で平均気温が28度と言っていたので、クリスマスはないと思ったが、クリスマスが一番大きなイベントだということがとても印象に残った。（1学年）
- ・言葉がわからない場所でも、研修生は頑張って伝えようとしているところに感動しました。研修生が「楽しく」活動していることが良いと思いました。（2学年）

IV. 学校給食特別メニュー

パラオ共和国の食文化への理解を図る目的で、学校給食特別メニューとして、市内公立の幼稚園、小・中学校の幼児・児童・生徒に「パラオ学校給食」を提供した。市学校給食センターの栄養教諭と試食会を行い、研修生のジェニーを中心に、パラオの郷土料理を基本とした「パラオ学校給食」を考案した。試作した料理は、栄養教諭の助言、指導のもと、栄養バランス、食べやすさ等を考慮、工夫し、2回にわたり提供された。

今後は、パラオ共和国の「食」に関連したイベントや親子料理教室などを通じて、幼児・児童・生徒の食文化理解とともに国際感覚の向上に努めていくことを考えている。

1. パラオ学校給食 試食会

日 時：平成 29 年 9 月 7 日（木）

午後 1 時 30 分から午後 4 時 00 分

場 所：おおみやコミュニティセンター

試作品：・魚のフライ

- ・パラオコロッケ（カニが入ったお好み焼きのようなもの）
- ・ほうれん草のソテー
- ・かぼちゃのスープ
- ・かぼちゃのココナッツミルク煮
- ・タマ（揚げドーナツのようなもの）

計 6 品



2. 第1回パラオ学校給食 【10月27日 第二中学校訪問日】

- 献立：・ごはん
・牛乳
・パラオコロッケ
・かぼちゃのココナッツミルク煮
・トマトと菜っ葉のスープ

※_____がパラオの郷土料理



3. 第2回パラオ学校給食 【11月30日 御前山小学校訪問日】

- 献立：・ごはん
・牛乳
・魚のフライ
・ほうれん草のソテー
・かぼちゃのスープ
・パイナップル

※_____がパラオの郷土料理



V. 研修生の感想 ～子供たちとの交流を通して～

ジェニー・オテイ

約半年の間、アスティンとケネリーと私は常陸大宮市内の学校を訪れ、プレゼンテーションを行いました。企画政策課の職員の方と一緒に、子供たちにとって勉強になるプレゼンテーションを考え、常陸大宮市とパラオ共和国が築いてきた関係子供たちに知ってもらえるような工夫をしました。

最後の数週間は大変でしたが、楽しかったです。この交流事業で、私は日本のことをたくさん学びました。明るくて元気でとても素晴らしい子供たちに出会うことができ、一緒にドッジボールをして、柔道や習字を経験することができました。私は人前で何かをすることがあまり得意ではなかったので、学校訪問をする前は、この事業は私にとってとても大きなことのように思いました。簡単なことではなかったですが、皆さんの協力のおかげですべての学校訪問を終えることができました。

学校関係者の皆さん、パラオという小さな国から来た私たちのことを温かく出迎えてくれ、子供たちと交流する機会を与えてくれてありがとうございました。日本の学校はパラオの学校と似ているところがありますが、違うところももちろんあります。皆さんにもぜひパラオの学校を見ていただきたいです。

素晴らしい出会いとなった幼児・児童・生徒の皆さん、アリー！皆さんは私たちが行ったプレゼンテーションを覚えていますか？一人一人と交流する時間は短かったですが、私は皆さんにパラオのことや常陸大宮市との関係を知ってもらえたことがとても嬉しかったです。このことは一生忘れないでしょう。心のこもったおもてなしを本当にありがとうございました。そして、私たちに英語で話をしてくれようとした皆さんもありがとうございます。それがとても勇気のいることだということをわかっています。でも、あなたたちの英語は本当に上手でしたよ。またどこかで会ったら、気軽にアリー！と声をかけてくださいね。

最後に、この学校訪問交流事業をサポートしてくださったすべてのみなさん、本当にありがとうございました。たくさんの方の支えがあったからこそ、この経験をすることができました。これは「一期一会」です。私の大好きな日本語です。皆さんとの出会いに感謝しています。

ぜひ東京 2020 オリンピック・パラリンピックではパラオを応援してくださいね！

アスティン・ニラケド

常陸大宮市内の学校訪問が終わりましたが、どの学校も特徴があって面白かったです。先生も子供たちもとても優しくかったです。子供たちは私たちとコミュニケーションをとろうと英語で話しかけてくれました。子供たちの英語が上手で、私はとても驚きました。また、私はもう一つ驚いたことがあります。それは日本の学校とパラオの学校には違うところがたくさんあることです。まず、パラオの学校は小学校が8年制、高等学校が4年制と、中学校がありません。日本の学校では、児童や生徒が自分たちで給食の準備や片付けをします。パラオでは給食の時間になると食堂で昼食を食べます。その他にも、日本の学校にはたくさんの活動があります。私はもっと日本で生活をして、そのような日本とパラオの違いを学びたいです。

また、パラオの紹介は少しだけでしたが、皆さんはよく理解しようとしてくれていて嬉しかったです。パラオの歴史、日本とパラオの関係をもっと多くの人に知ってもらいたいと思っていたので、私たちがプレゼンテーションをできたことは本当に良かったと思います。皆さんが私たちのプレゼンテーションを聞いて感じたことや思ったことを、ぜひ、家族や親戚の方に教えてあげてください。また、学校訪問では私も日本のことをたくさん教えてもらいました。私も自分が学んだことをパラオに帰ったときにパラオの人たちに伝えたいです。本当にいい経験でした。先生方、幼児・児童・生徒の皆さん、私たちを受け入れてくれてありがとうございました。

ケネリー・レケメル

この約半年間、私たちは常陸大宮市内の学校に行きました。それは、私の人生の中でとても特別な時間になりました。何より、私は日本の子供たちとたくさん関わることがとても嬉しいです。学校訪問では主に、私たちは教室で子供たちと一緒に授業を受けたり、スポーツをしたり、給食を食べたりしました。日本の子供たちと一緒に授業に参加し、勉強をするということはとても貴重な経験だと思います。私も日本人になれた気がしました。本当に嬉しかったです。また、パラオのプレゼンテーションでは、2020年の東京オリンピック・パラリンピックに関すること、私たちが日本に来て、学校訪問をしている目的、パラオの基本的な情報や歴史・文化について話しました。子供たちはいつも目を輝かせて私たちのプレゼンテーションを聞いてくれて、終わったらたくさん質問をしてくれました。その様子を見ると、私も皆さんにもっとパラオのことを知ってもらおう、もっといろいろ話したいという気持ちになりました。私は学校訪問の時間をとても楽しみました。新しい友達を作り、たくさんの素敵な人たちに出会えたこと、とても嬉しく思います。この素晴らしい時間はいつも私の心にあって、思い返したときには、日本で生活した中でも本当に良い経験になったと思うでしょう。皆さん、ありがとうございました。



(左からケネリー、ジェニー、アスティン)

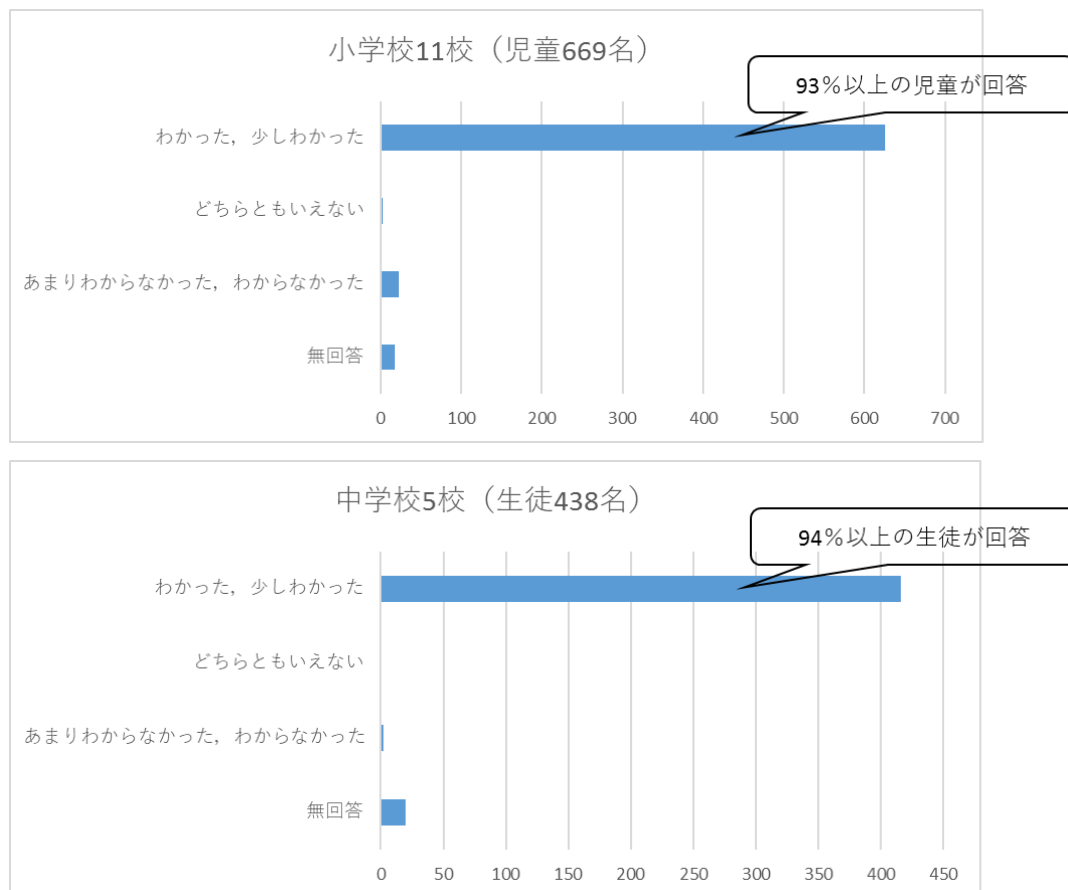
VI. おわりに

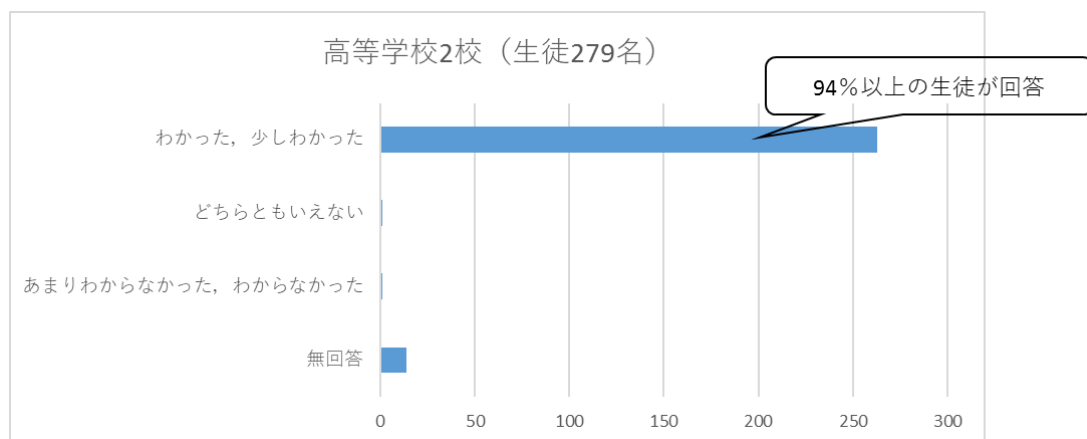
1. 学校訪問を通じた国際感覚の向上、国際交流の促進とその成果

「平成 29 年度パラオ共和国研修生学校訪問」では、市内の幼稚園、保育園、小・中学校、高等学校で授業体験交流、研修生によるパラオの紹介、部活動交流の 3 つを基軸として、半年間にわたり、交流事業を行いました。

授業体験交流においては、学校毎に特色のある授業で幼児・児童・生徒と研修生、相互の国際交流が図られるとともに、研修生にとっては日本の学校を知る機会となり、自国との違いを発見することができました。また、習字や和楽器などの日本文化の体験活動では、子供たちが研修生に積極的に声をかけ、共に活動する様子が見られました。

研修生によるパラオの紹介では、パラオ共和国の基礎情報から歴史、文化、観光名所、食べ物、スポーツ、常陸大宮市との関係等を説明しました。事業終了後には研修生がプレゼンテーションを行った児童・生徒（小学校 4 学年以上の児童、中学校・高等学校の生徒）を対象に、パラオ共和国に関する理解度調査のアンケートを実施しました。調査項目で、「パラオ共和国と常陸大宮市の歴史的つながりや友好的な関係であることがわかりましたか？」という問には、9 割以上の児童・生徒が「わかった」と答えています。（結果は次表のとおり。）また、「パラオ共和国のことをもっと知りたい。」「2020 年の東京オリンピック・パラリンピックではパラオを応援したい。」との感想が多数あがっています。このことから、研修生の学校訪問により、児童・生徒はパラオ共和国をより身近に感じたことや、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会等に対する関心、国際感覚が向上したことがうかがえます。





また、中学校、高等学校においては部活動交流を実施しました。文部科学省では、「スポーツを通じた国際交流は、我が国におけるスポーツの普及・発展に寄与することはもとより、諸外国との相互理解と友好親善の促進に大きな役割を果たすきわめて重要な意義を持つもの」と位置付けており、本事業における部活動交流においては、生徒と研修生が互いに声を掛け合い、励まし合うことでスポーツ活動を通じた相互理解が図られ、双方の関係の深まりが感じられました。

2. 今後の取組について

平成30年度からは、常陸大宮市においてパラオ共和国選手団が東京2020大会に向けた事前キャンプを行います。その際に、選手団と子供たちとの交流の機会を創出し、更なる国際交流の促進と東京2020大会に向けた機運醸成を図っていきます。また、パラオ共和国関係者や国際貢献者の講演会、環境や平和に関する学習など多面的な取組を推進し、児童・生徒の国際感覚の向上や共生社会への理解を深めながら、なお一層のパラオ共和国との友好関係を発展させ、これらの取組成果として得られるレガシー（遺産）を、貴重な財産として、将来にわたり継承していきます。

最後になりますが、今回のパラオ共和国研修生学校訪問交流事業において、ご協力いただきました各学校の校長先生をはじめ諸先生方、幼児・児童・生徒の皆さん、交流事業にご理解をいただきました保護者の皆様に厚くお礼申し上げます。パラオ研修生にとりましても大変有意義な研修となりました。今後とも、本市の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた事業の推進につきまして、皆様のご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

参考資料（報道・広報関連）

パラオ研修生による「学校訪問交流事業」は新聞やテレビ報道されたほか、各学校の学校だよりに掲載していただき、多くの方々に広く周知することができました。

i. 新聞・テレビ報道記事

・茨城新聞【H29.10.31 掲載】

給食にパラオ料理

常陸大宮 研修生一緒に味わう

2020年東京五輪・パラリンピックで、パラオ選手団の事前キャンプ地となる常陸大宮市は27日、学校給食に同国の家庭料理を提供した。同市石沢の市立第二中（鴨志田太校長、生徒188人）では同国からの研修生3人が、教室で生徒と一緒に料理を味わい、交流を深めた。

献立は「パラオコロッケ」「トマトと菜の花のスープ」「カボチャのココナッツミルク煮」。コロッケはお好み焼きに似ており、日本とパラオの小さな国旗を立て、友好関係を表現した。スープには鶏肉やタマネギも入り、ココナッツ味が絶妙のミルク煮は、栄養士が食べやすいようにアレンジした。

3年生のクラスで食したアステイン・ニラケトさん（21）は「コロッケはパラオより少し固かった。スープとカボチャは同じ味で、おいしかった」と笑顔。完食した畑岡萌華さん（15）は「コロッケはパンのような食感。全部、おいしい」と話した。

研修生は午前中、体育の授業に参加。柔道で汗を流した。午後はパラオの概略や歴史の紹介、日本との関係などを説明。野球は「ヤキュウ」と呼ばれて人気スポーツ。五輪は2000年のシドニー大会から参加したなどの報告があり、「東京でメダルが取れるように応援してください」と呼び掛けた。

（蛭田 稔）

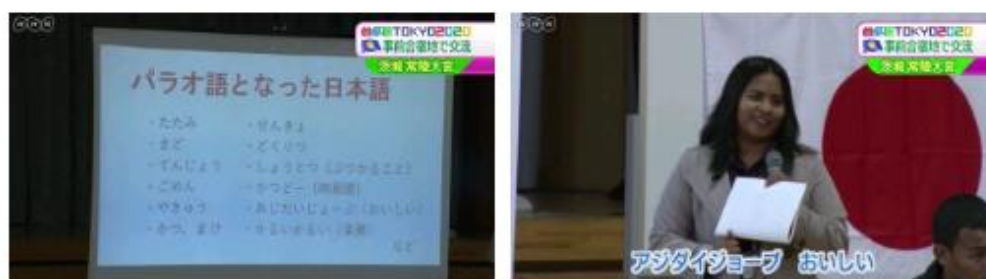
パラオからの研修生も一緒に食べたパラオ料理の学校給食。常陸大宮市石沢



・NHK 水戸放送局【H29.12.21 放送】



オリンピックに向けて3人は、小学校などに出向いてパラオの歴史や文化を紹介しています。



「パラオには、パラオ語になった日本語がたくさんあります。『アジダイジョーブ』は、日本語で『おいしい』という意味です」と、日本語で児童に説明しました。



太平洋戦争の前まで、日本に統治されていたパラオ。
現地では、当時の日本人が伝えた言葉が今も使われていることを伝えました。



給食の時間には、パラオの家庭料理を子どもたちに味わってもらいました。
白身魚のフライやカボチャのスープなど、日本人にもなじみ深いメニューです。



「魚がレモンの味でおいしい」という児童の声も聞かれました。



食事をとめることで、自然と交流が生まれます。

児童が「ドゥー・ユー・ライク・アニマル？」と話しかけると、ケネリーさんも「I like animals、I like dogs」と答え、最後に日本語で「イヌ」と付け加えるケネリーさん。

児童は「通じました。楽しいです」と笑顔です。

II. 学校だより【抜粋】

・大賀小学校【学校だより『おおが』第5号（H29.10.27）掲載】

パラオの海の映像を見て「行ってみたい！」との声 ーパラオ共和国研修生との交流ー

常陸大宮市では、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会ホストタウン交流計画に基づき、パラオ共和国から3人の研修生を受け入れています。その3人の研修生が、10月18日（水）に本校を訪れ、子どもたちと交流しました。

4校時には、体育館でパラオ共和国の紹介がありました。パラオの食べ物やマリンスポーツの話聞き、子どもたちから「行ってみたい！」との声が上がりました。その後、ゲームをしたり、給食を一緒に食べたりしました。5校時には、1～3年生と「さつまいも掘り」を行いました。

3人の研修生は、子どもたちの歓迎にとっても感激し、別れを惜しんでいました。これから、さらにパラオ共和国との友好親善が深められればと思います。



・大宮中学校【学校だより『ゆきわ』第181号（H29.12.21）掲載】

パラオ共和国の研修生3名と楽しく交流しました!!

11月16日（木）にパラオ共和国の研修生が本校を訪問し、1年生との交流を図りました。研修生は、JENNY D. OTEI（ジェニー オテイ）さん、AUSTEIN L. NGIRAKED（アスティン ニラケド）さん、KENELLY S. REKEMEL（ケネリー レケメル）さんの3名です。

午前11時前に来校し、4校時に1年2組で書道の授業に参加し、昼食は、会議室で1学年生徒会と希望者の計25名で給食をともにしました。5校時は、体育館で1学年全体での交流会を行いました。本校から歓迎のことばと学年合唱を披露した後、研修生によるパラオ共和国の紹介を中心としたプレゼンテーションが行われました。研修生は皆さん日本語が大変上手でした。質疑では、1年生からの積極的な質問が多く、大変盛り上がりしました。さらに放課後は、剣道部の見学・体験を行い、研修生の皆さんにとっても本校の1年生にとっても印象深い1日となりました。

3名は、来年3月まで市内で研修する予定とのことです。



【パラオ共和国留学生来校】

2日に、パラオ共和国ペリリュー州から常陸大宮市に研修に来ているアスティンさん、ジェニーさん、ケネリーさんの3名が本校に来校しました。

当日は、始業式が終わった後、3名によるプレゼンテーションがあり、生徒たちは真剣に話を聞いていました。その後、授業体験をしたり、昼食を一緒に食べたりしました。午後からは、1年生と一緒に英語で茶道体験を行ったり、体育の授業にも参加したりしました。

※ 常陸大宮市は、2020年東京オリンピック時のパラオ共和国のホストタウンで、キャンプ地となることが決まっており、市とパラオ共和国を繋ぐ役割を担うため、常陸大宮市役所で日本語を勉強しながら1年間の研修を行っています。

